

水道事業の現状と課題

- 水道は住民生活に必要な不可欠なライフライン
- 経営環境が急速に悪化することが想定される
 - 急速な人口減少に伴う有収水量(※)の大幅な減少と施設利用率の低下
 - 老朽化対策と災害対策に伴う更新投資の増大
- 専門人材の確保等の人員体制の強化も課題

※有収水量とは、料金徴収の対象となった水量及び他会計等から収入のあった水量。

持続的な経営を確保するための基本的な考え方

以下の観点から、中長期の経営見通しに基づく経営基盤の強化を推進

＜持続可能な水道の維持のための適切な更新＞
 中長期の視点に立った需要と供給体制の見通しを踏まえ、適切なアセットマネジメントを行うことで、トータルコストの縮減や平準化を図るとともに、着実に更新を行うこと

＜料金収入の確保＞

人口減少による料金収入の大幅な減少が懸念される中、更新投資の増大も踏まえ、計画的な料金水準の見直しも合わせて行うこと

＜広域化等の抜本改革の推進＞

収支均衡に有効な方策として、広域化、民間活用等の抜本改革に取り組むこと

今後の具体的な取組方策

1. 「広域化推進プラン」による広域化の推進

- 水道事業の抜本改革の中でも、複数の市町村の区域で水道事業を広域的に経営する取組を推進することが喫緊の課題
- 経営統合は、浄水場等の施設や人員等の経営資源を一元的に管理するため、スケールメリット等による給水原価の削減、専門人材の確保等、経営基盤を強化する効果が最も期待できる
- 施設の共同設置や共同利用、事務の広域的処理については、経営統合が実現しにくい地域においても、コスト削減や事務処理の効率化などの効果が期待できることから、多様な類型の広域化を推進すべき
- 都道府県において、様々な広域化の効果についてシミュレーションを行い、広域化の基本的な考え方やスケジュールについて示す「広域化推進プラン」を市町村等と連携して策定し、計画的な取組を推進することが必要。国においても、広域化に係る財政措置の拡充を検討すべき

2. 適切なアセットマネジメントに基づく着実な更新投資の促進

- 大規模な資産を保有し、住民生活に欠かせない水道事業においては、将来にわたり、必要な施設を適切に維持・更新していくことが極めて重要
- そのためには、中長期の視点に立ち、人口減少や更新投資の増大を踏まえて、ダウンサイジング等を反映させたアセットマネジメントを実施することが必要
- 適切なアセットマネジメントを踏まえた更新を着実に進めるためには、更新に必要な財源も含めた料金水準の見直しも合わせて必要
- その上で、すべての地域で水道サービスが持続的かつ安定的に提供されるよう、国において、経営条件が厳しく、更新投資が進んでいない団体においても、着実な更新投資がなされるよう、財政措置を行うべき

【主な広域化の類型】

